

2009年7月24日

☆☆☆グノー第2ミサ要員大募集！！☆☆☆

コール・アカデミー関西OB会

各位益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。下記の通り”大募集”を致します。

1. 本番

2010年5月4日（火、祝）於兵庫県立芸術文化センター大ホール [西宮市]

催し名称：第30回「五つの男声合唱の集い」 通称アンコール[ANCOR]の会

当団演奏曲目：グノー第2ミサ [25分に収まるよう一部割愛]

他4団体： 京大(A)、大阪市大(N)、阪大(O)、神戸大(R)各OB

2. 募集

東京方面より各パート5人以上、合計20-25人以上の大募集としたい。

※理由 [佐渡裕氏が音楽監督の劇場で、大ホールはオペラ向けの設計となっており、関西OB会の通常時の人数20人では到底演奏と言える演奏にならないので、人数倍増のため、今回なりふりかまわぬSOSを発する次第]

※実体的な呼びかけは、下記理事に加えて、在阪常任メンバーの北川克一(S39卒)、松浦英基(S53卒)、吉田謙吾(S55卒)の各氏から、各自の同期ならびにその前後にアプローチさせて頂くことになろうかと存じます。

理事 中村充男(S38卒) 電話 090-3848-0338 anakamur@kawachi.zaq.ne.jp

理事 米岡 実(S47卒) 電話 090-6240-8994 m-yoneoka@kgm.jp yminoru.choir@ezweb.ne.jp

理事 森 正明(S53卒) 電話 080-5005-2493 Mori_Masaaki@takeda.co.jp

郵便宛先（中村自宅）〒580-0043 大阪府松原市阿保一丁目18番27号

※募集期間は、これより9月迄を目途と致します。

3. 指揮者

松井義知氏。

日本テレマン協会所属、その合唱団長を長年務めた。今も同協会の重鎮。

合唱の本筋、また外国語発音についての識見・指導力は卓越している。

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業後、兵庫県（私立）甲陽学院に奉職。

コール・アカデミーに立て続けに同学院高校グリーの教え子を送り込み、結果的に中島祥好氏(S52卒)、酒井雅弘氏(S53卒)らの学生指揮者を輩出させた。

なお、グノー第2ミサの伴奏者に、松井さんの人脈で堀江光一さんという”超”一流とも言うべきオルガニストを予定。

4. 練習方法

二元方式とします。

すなわち、当初は東京組練習を東京で何回か行ない（関西は関西で）、一元化するのは年明けて4月までに少なくとも1回（場所は要検討）、本番前日にゲネプロ。

5. 背景

コール・アカデミー関西OB会は1977年発足以来、主に独逸仏伊英米、それにハンガリー、ブラジル、スペインに互る大作曲家達の男声合唱曲に意欲的に取り組みました。

関西合唱コンクール、大阪府合唱祭(30年連続)、バックス・フェスタ、また幾つかのジョイント---アカデミカコール、アンサンブル葉音、京大グリー大阪OB会---、2000年前後の数回の自前の演奏会---その集大成は2002年2月の25周年記念演奏会---、それにここ数年、尾崎喜八の詩に取組み、多田さんの組曲を信州現地にて招待演奏、・・・この通り数々のステージがありました。

それらにまして、特筆すべきは今年5月で29回を数えたジョイント「五つの(OB)男声合唱の集い」通称アンコール(ANCOR)の会です。上記の通りの関西主要（国公立）大学の男声OBということもあり、切磋琢磨の繰返しが30年近くも続き、その中で当団は言わば少数精鋭で、音楽的には正統との評価（実は、松井さんのお蔭）で、一目も二目も置かれています。

とは言え、当団の内情は要員不足で「絶滅の危機」が毎度の演奏会での団紹介のキーワードとなっている始末。そこへ、来年の第30回アンコールは何故か大きなハコを選んで上記会場と決定され、小規模の当方としては辞退・欠場の言まで飛び出して・・・。

困った時の人頼みで「大募集」、そして出し物は、最大公約数でグノー第2ミサ、となったわけです。

事情ご明察の上、各位のお力を貸して頂きたく、切にお願いを致す次第です。